

■公共交通機関利用の場合
JR東海道線(または新幹線)豊橋駅でJR飯田線
乗り換え東新町駅で下車 南へ徒歩約10分

■車でお越しの場合
東名高速道路 豊川ICから新城方面北へ約20分



日時: 2012年 **10月20日**(土) **17:00**~

第一部 『イギリス世界新城アライアンス会議報告会』

第二部 オペラコンサート『オペラでたどる世界の町』

場所: 新城市商工会館 3階大研修室
(新城市字中野15-10)

出演者: オペラ歌手 みやざき ともなが 宮崎智永 / かとう もとこ 加藤智子

みやざき ともなが
宮崎 智永
テノール



14歳から合唱を始め、名古屋大学在学中の1995年にキャストとしてオペラデビュー。翌'96年、愛知県文化振興事業団主催 栗山昌良氏演出『トゥーランドット』への出演を機に混声合唱からオペラに完全転向。以来、同事業団主催公演を中心に、全国多数のオペラに出演している。

あいちトリエンナーレ『ホフマン物語』ではコシュニエ/ピティキナッチョの二役を演じ、「音楽の友」誌で「芸達者な歌い手」と頌される。

第10回大阪国際音楽コンクールではEspoir賞('09年度日本人男声最高位)を受賞。また、'11年のVicenza 国際音楽祭(世界遺産 オリンピコ劇場)には日本代表として出演。

三河市民オペラにおいては、'09年の『カルメン』でレメンダード役を演じる高い評価を得ている。また、'12年3月の『プッチーニの最高傑作オペラコンサート』にも出演し、高い演奏技術と、気さくで誠実な人柄に聴衆のみならず関係者にもファンが多い。現在はマルチェッラ・レアーレ氏に師事している。

2013年5月にアイブラザ豊橋で上演される三河市民オペラ『トゥーランドット』では、三大臣バン役で出演と共に、主役カラフのアンダーも担い重責を務める。

かとう もとこ
加藤 智子
ソプラノ



豊橋市出身。桜丘高等学校音楽学科卒業。

日本大学芸術学部音楽学科声楽コース卒業、同大学大学院芸術学研究科音楽芸術専攻博士前期課程首席修了。定期演奏会、卒業演奏会、修了演奏会に出演。

二期会オペラ研究所予科修了。第17回日本クラシック音楽コンクール全国大会大学の部第3位。(1位、2位なし)

第63回全日本学生音楽コンクール声楽部門 東京大会大学・一般の部入選。

オペラではモーツァルト作曲「魔笛」パミーナ、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ等で出演。佐々木伸、渡辺馨、林八重子の各氏に師事。

三河市民オペラにおいては、'12年3月の『プッチーニの最高傑作オペラコンサート』に出演。今後の活躍を期待される高い評価を得る。

2013年5月にアイブラザ豊橋で上演される三河市民オペラ『トゥーランドット』では、女官役で出演と共に、主要役リュウのアンダーも担い重責を務める。

トゥーランドットのあらすじ 伝説の時代の北京。宮殿の城壁前の広場。役人が現れ、「トゥーランドット姫に求婚する男性は王族の血をひき、姫の出す3つの謎を解かねばならない。解けない場合は首をはねられる」と述べ、今夜謎解きに失敗したペルシアの王子が、月の出とともに処刑されると告げる。戦いに敗れ、放浪の身の上の王子カラフは、広場に集まった群衆の中で、離れ離れになっていた父王ティムールとめぐり会う。父王は盲目となり、女奴隷のリュウが付き添っていた。再会の喜びもつかの間、広場に現れたトゥーランドット姫をかいま見たカラフは、その魅力の虜になる。ティムールとリュウ、そして3人の大臣ピン、パン、ポンが止めるのも聞かず、カラフはトゥーランドット姫の名を呼びながら謎に挑戦する銅鑼を3度打ち鳴らす。

3人の大臣、ピン、パン、ポンが王女の残忍さと国の状況を憂いている。皇帝アルトゥムが現れ、厳しい掟を改めて伝え、断念するように伝えるが断固として拒むカラフ。そしてトゥーランドット姫が登場し、なぜこんな残酷な謎かけをするようになったかを語り始める。かつて敵に連れ去られ、殺されたこの国の姫の恨みを晴らすために謎をかけ、解けぬものを殺すのだと。謎解きが始まり、「謎が3つで死が1つ」というトゥーランドット姫に対し、「謎が3つで命が1つだ」と切り返したカラフはみごとに3つの謎を解く。しかし高慢なトゥーランドット姫は、名も知れぬ男と結婚するのは嫌だと皇帝に訴える。皇帝はトゥーランドット姫に誓いは守らねばならないと告げる。そこでカラフは逆に「夜明けまでに私の名前がわかったなら、命を差し出しましょう」とトゥーランドット姫に謎を出す。

深夜の北京の街で、トゥーランドット姫からの命令を伝える役人の声が聞こえる。「求婚者の名がわかるまで、今宵は誰も寝てはならぬ」と。カラフは明日の勝利を確信し、「夜明けには私が勝つだろう」と美しいアリアを歌う。そこへピン、パン、ポンが現れ、様々な誘惑で名前を聞き出そうとするがカラフは応じない。やがてカラフの名を知っているに違いないと、リュウとティムールが引き立てられてくる。二人に名前を言うように迫り、リュウは拷問にかけられても答えない。その様子を見ていたトゥーランドット姫に「なぜそんなに強いのか」と尋ねられたリュウは「それは愛の力」と答え、傍らの衛兵の短剣奪い取り自害する。それを見たトゥーランドット姫の心に変化が起きる。トゥーランドット姫はリュウの愛の強さに圧倒されたのだ。カラフがトゥーランドット姫に駆け寄り接吻すると、氷のような心がたちまち溶ける。トゥーランドット姫は高らかに宣言する。「彼の名がわかった。その名は“愛”！」と。そして民衆の歓喜の合唱と共に幕が下りる。

本公演日／2013年5月5日(日)・6日(月祝)
公演会場／アイブラザ豊橋(勤労福祉会館)

ジャコモ・プッチーニ作曲 オペラ「トゥーランドット」
全3幕 イタリア語上演・字幕付

※ 本公演までに様々なオペラセミナーを開催していきます。
詳細は、ホームページをご覧ください。

主催 三河市民オペラ制作委員会
共催 豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・
豊橋校 桜丘学園 桜丘高等学校 桜丘中学校
制作協力 東京二期会

お問い合わせ先 三河市民オペラ制作委員会事務局
Tel: 090-4466-2800(鈴木)
Eメール: mikawa_opera@yahoo.co.jp
ホームページ: <http://www.mikawa-opera.jp/turandot/>